

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 3		作成日		30年 6月 25日		
事務事業名		笹尾コミュニティセンター経費				シート作成部署				
総合計画上の位置付け	基本施策	3 心豊かなまち				課名	社会教育課		係名	生涯学習係
		3-1 生涯学びのあるまちをつくる				シート作成者				
	施策	3-1-3 生涯学習の推進				予算費目	会計		一般	
							款		10	
主要施策	① 社会教育関連施設の充実				項		5			
	⑤ 学習成果の活用				目		3			
個別計画名										
住民との関わり		住民の自主活動に対する支援（「場」の提供、資金援助、情報提供）								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）						
	町民（利用者）			中央公民館の分館として地域住民の芸術、文化及び社会教育の向上を図り、併せて社会福祉の増進に寄与する。						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		中央公民館の分館として、地域住民のクラブ・サークル活動や地元自治会等のコミュニティ活動などに施設を提供する。								
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input checked="" type="checkbox"/> 3年度 ~ 平成 年度（ 年間） <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし								
根拠法令・要綱等		社会教育法（生涯学習振興法）								
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）				
全体事業費（千円）A+B		0		6,565		9,601				
財源内訳	国庫支出金		0		0		0			
	県支出金		0		0		0			
	地方債		0		0		0			
	その他特定財源		0		2,296		2,107			
	一般財源		0		4,269		6,174			
直接事業費（千円）A		0		6,565		8,281				
人件費（千円）B		0		0		1,320				
内訳	一般職員（人・千円）		0.00 人 0		0.00 人 0		0.20 人 1,320			
	臨時職員（人・千円）		0.00 人 0		0.00 人 0		1.80 人 0			
成果指標	成果指標名			単位	29年度		30年度	31年度		
					目標	実績	（目標）	（目標）		
	①	施設利用者数		人	-	30,334	30,500	30,500		
	②									
③										
説明	施設において、さまざまなクラブ・サークル活動等が行われ、多くの団体に利用されていることから、利用者数を成果指標とする。									

事業名		笹尾コミュニティーセンター経費			シート作成課		社会教育課		
一次評価者		社会教育課長			二次評価者		教育委員会事務局長		
評価項目の説明	チェック項目				一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	中央公民館の分館として、地域住民のクラブ・サークル活動や地元自治会の活動等に施設を提供することから、適切に維持管理する必要があります。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		地域住民のクラブ・サークル活動や地元自治会等のコミュニティ活動などの場として活発に使用され、親睦が図られています。
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		クラブ・サークルや地元自治会など、多くの住民に利用されています。
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		地域住民のモラルと臨時職員1名の配置により、効率的な運用ができています。
<b>本事務事業の実施適切性の説明</b>									
笹尾地区においては、手狭な自治会集会所では地域住民のクラブ・サークル活動や地元自治会等のコミュニティ活動が十分実施できない事情があり、それを補う施設としても笹尾コミュニティーセンターは有効に機能しています。									
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	3	4	(8) B	(8) A		
						(7) D	(7) C	(8)	
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大		
今後の改革・改善目標	築27年を経過し（平成3年竣工）施設・設備の経年劣化などが見られるため、公共施設等総合管理計画（個別計画）のもと長寿命化を進める必要があります。また、自治会等と他の団体間で使用希望日時が競合することが少なくないため、調整を図る必要があります。								
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	3	4	(8) B	(8) A		
						(7) D	(7) C	(8)	
今後の方針	休・廃止		見直し		継続		拡大		
コメント	中央公民館の分館として、地域住民のサークル活動や地元自治会等に施設を提供することから、施設・設備を適切に管理する必要があります。								
二次評価に対する課の考え方									
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する					